

## 平成30年度第1回理事会議事録

1. 日時：平成30年6月2日（土） 13:30～17:10

2. 場所：岸記念体育会館5階 504、505会議室

3. 出席者：

理事：総数27名中 松丸喜一郎会長 藤井優副会長 田村恒彦副会長兼専務理事  
岸高清常務理事 袴田登喜造常務理事 溝部政司常務理事 永谷喜一郎常務理事  
大野明敏常務理事 鍵山博常務理事 横山幸子常務理事  
香西俊輔理事 生島賀寿也理事 田中敏夫理事 木場良平理事 三木容子理事  
佐橋朋木理事 藤井彌理事 源洋子理事 麻植芳靖理事  
寺澤良悦理事 田中僚一郎理事 高橋信吾理事 田中辰美理事  
以上出席23名

監事：総数2名中 石崎和男 阿部栄一郎 以上出席2名

田村専務が13時30分に理事23名出席で成立するとの宣言をした。

4. 議事録署名人：松丸喜一郎、藤井優、田村恒彦、石崎和男、阿部栄一郎

5. 松丸会長挨拶

松丸会長が、先月ミュンヘンWCに行ってきたが二つの日本新が出た。選手の底力がついてきている感がある。来年前半までが勝負である。また日ラ認定コーチ制度について昨今の国内選手のドーピング問題や指導者の問題もでてきている中で改訂案を出しており審議をよろしくお願ひしたい、とあいさつした。

### <審議事項>

1. 定時社員総会開催について

田村専務より資料1のとおり説明があり、特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議無く原案どおり定時総会開催について承認した。

2. 正会員の交代（案）について

田村専務より資料2改のとおり説明があった。特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なく5名の正会員の交代、1名の新任について資料2改のとおり定時総会の議題とすることを承認した。

3. H29年度事業報告（案）について

田村専務より別添資料1、別添1追加のとおり説明があった。特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なくH29年度事業報告案について、定時総会の議題とすることを承認した。

4. H29年度収支決算書（案）について

田村専務より別添資料2のとおり説明があった。特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なくH29年度収支決算書案について、原案どおり定時総会の議題とすることを承認した。

5. H29年度会長表彰について

田村専務より資料3別添3のとおり説明があった。特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なくH29年度の9名の会長表彰について承認した。

6. 参事の選任について

田村専務より資料4改のとおり説明があった。特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なく2名の交代にともなう参事の選任について承認した。

（一時中断して今年度エリートアカデミー生紹介）

7. 岸体協会事務所の移転について

田村専務より資料5のとおり説明があった。特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なく

来年6月予定で協会事務所を新宿区霞ヶ丘に建設中の日本スポーツ協会およびJOC新会館に移転させることについて承認した。

8. 理事監事本部・委員会委員等の出張出役手当に関する規程改訂について

岸高事務局長より本件は次回理事会審議とすることになった、との報告があった。松丸会長よりこの規程については2つの規程がこれまであり、同じ出役をした場合で日当額が異なるような事がないように統一したいとの改訂趣旨であるとの説明があった。この趣旨について議長が諮ったところ全員異議無くその趣旨にそって規程案を策定し次回理事会に諮ることを承認した。

9. パラリンピック選手強化事業助成規程制定(案)について

田村専務より資料7の内容および第1条の射撃連盟の後に「以下事業実施団体と言う。」を加筆する旨を含め説明があった。香西理事より、これは時限立法として2020年9月のパラリンピック終了までが施行期間とする附則をつけるべき、との意見があった。議長がこの期限をしめず附則も含めて諮ったところ、全員異議無く、原案の第1条に上記12文字加筆すること、附則の2として「本規程の施行期間は2020年9月の東京パラリンピック大会終了をもって終了する。」との条文を追記し可とすることを承認した。

10. 日本障害者スポーツ射撃連盟パラQP獲得への支援について

田村専務より資料8のとおり説明があった。さらに田中辰美理事よりJPCからの補助金は補助率10分の10で本年は総額630万円の予定であるが、帯同役員らの費用でほとんど残らず、選手分については全て自己負担とせざるをえないのが実情であり、ご支援をお願いした、との説明があった。三木理事より、自己負担額の50%を基準とするのであれば、150万円では足りなくなる可能性もあるのではないかと指摘があり、議長が、本年度は上限を200万円として対象選手の自己負担予定額の50%を補助する考え方で皆さんに諮りたいと述べた。全員異議無く、原案の150万円予定ではなく、選手自己負担予定額の50%を補助し総額200万円を上限とするとの支援案を承認した。

11. 東京2020五輪出場権(QP)の取り扱い要綱について

田村選手強化委員長より資料9のとおり説明があった。さらに田村委員長が資料中の第2条1. ライフル種目の種目名の「FR3×40」の「F」を削除する字句訂正をした。議長が諮ったところ全員異議なく原案から第2条の「F」削除の訂正も含め東京2020五輪出場権(QP)の取り扱い要綱を承認した。

12. 第18回アジア競技大会派遣について

田村選手強化委員長より資料10のとおり説明があった。特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なく選手13名役員4名の派遣について原案どおり承認した。

13. ジュニアWCズール大会派遣について

大野ジュニア育成委員長より資料11のとおり説明があり、その中で選考については平成30年度ジュニア育成アスリート指定基準および海外派遣要綱に基づき選考したとの補足説明があった。特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なく選手16名役員3名の派遣について承認した。

14. 格上グレード3競技会承認について

溝部競技運営委員長より資料12のとおり説明があり、特に質疑はなく議長が諮ったところ全

員異議なく第 29 回西日本学生、第 26 回西日本女子学生の 2 大会の格上げグレード 3 について承認した。

15. 公認審判員規程の一部改訂について

溝部競技運営委員長より資料 13 のとおり説明があり、特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なく名誉審判員について 75 歳以上の者の更新料を無料と規程第 4 条に明文化する改訂について承認した。

16. 公認審判員の承認について

溝部競技運営委員長より資料 14 のとおり説明があり、特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なく 16 名の地方公認審判員について承認した。

17. 記録の公認について

源記録部会長より資料 15 改 1 のとおり説明があり、特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なく 27 件の日本記録について承認した。

18. 銃器、弾の公認について

香西認定部会長より資料 16 のとおり説明があり、特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なくモリーニ製エアピストル 200EI 型とエレ社エアライフル弾 ventus Tenex air の公認について承認した。

19. NRA J 認定コーチ制度の見直しについて

永谷普及生涯スポーツ委員長より資料 17 のとおり説明があった。鍵山国体委員長より国体監督の要件として B 級コーチを必須とするのを 2 年後とするには無理があるとの意見が国体委員会であった、インテグリティの講習だけではだめか、との発言があった。松丸会長から、今回は改訂の趣旨にご賛同いただき、要綱案をこれからご覧いただき、細かいところは 7 月の理事会までに皆さんの意見をうかがっていきたい。と発言があり、議長が見直しの趣旨にご賛同いただき条文は継続審議とすることで諮ったところ全員異議無く、見直しの趣旨は承認し、条文は継続審議ということで承認された。

20. 拠点射撃場整備計画について

岸高事務局長より資料 18 のとおり説明があり、特に質疑はなく議長が諮ったところ全員異議なく徳島市ライフル射撃場の電子標的導入に対する 200 万円の補助について拠点射撃場整備費補助の対象とすることを承認した。

<報告事項>

1. 委員会報告：

1) 総務委員会

- ・ライフル銃更新実態に関する調査について

岸高局長より去る 5 月 14 日から各加盟団体に依頼中のライフル銃更新実態に関する調査実施について報告がなされた。

2) 推薦委員会報告

- ・2 月 3 月 4 月推薦委員会審査結果について

袴田推薦委員長資料 19 のとおり 2、3、4 月の推薦審査結果について報告がなされた。

松丸会長より、年少射撃認定者の推移について都道府県別の内訳を調べて理事会に欲

しいとの発言があり、協会事務局で作業することになった。

### 3) 国体委員会報告

鍵山国体委員長より資料 20 および別添資料 5 のとおり福井国体役員表、同競技日程、茨城リハーサル役員表、同日程について報告があった。その中で茨城リハのCP以外中央派遣役員については委員会で保留となりさらに調整することになったとの報告があった。

さらに、鍵山委員長より愛媛国体 10m 伏射の際にエアを出した選手がいたが、選手、監督が否認したため、ペナ等の処置ができなかった、との問題が発生したが、以後このようなことの無いよう、国体での厳正な競技判定の実施について、国体委員会としても十分留意していきたいと報告があった。本件について田村専務理事より、この件は一番反省して欲しいのは射撃競技の品位を落とした選手、もっと反省すべきは勝利至上主義的な指導者であると思う、との発言があった。石崎監事より、当該選手が指導に対して相談する窓口として日ラの弁護士の相談窓口があるように思うので、みなさんはその感性を高めて日大のような事例にならないよう努めていただきたい、との発言があった。

鍵山委員長より国体でのミックス種目について、エアライフルの成年と少年で茨城国体からの導入をめざし、この代替として男女のP60を廃止する方向で各県の意見をまとめ日スポ協会と協議していきたい、日スポ協会から各都道府県の賛否確認をしその結果が8割以上の賛成を得て変更となるとの報告があった。

### 4) 選手強化委員会報告

田村選手強化委員長より資料 21 により WC チャンオン大会派遣選手結果について、資料 22 により WC フォートベニング大会派遣選手結果について、資料 23 により WC ミュンヘン大会派遣について報告がなされた。

### 5) ジュニア育成委員会

#### ・ JOC スポーツ賞受章について

大野ジュニア育成委員長より資料 26 のとおり島田敦、遠藤雅也、清水彰人の三選手が昨年のジュニア世界選手権での世界記録での優勝に対し、JOC スポーツ賞の新人賞を受賞することとなったとの報告があった。

### 6) 2020 東京オリパラ準備運営本部

#### ・ 第 1 回本部会議（三者）報告

田村オリパラ準備運営本部長より、去る 5 月 10 日に、日ラ、日クレ、2020 東京オリパラ組織委員会で、オリパラ準備運営本部の本部会の形で会議をもち、組織委員会より朝霞射撃場の計画日程、レイアウトなどの説明を受け、NTO、競技ボランティアの確保、テストマッチも含めた日ラの負うべき役割などについて協議した、との報告があった。

### 7) 競技運営委員会報告

#### ・ MIX 種目本選での段級対象外について

溝部競技運営委員長より資料 24 のとおり、エアライフル、エアピストルのミックスチーム種目本選競技では、段級受験はできないこととする、との報告があった。さらに袴田推薦委員長から推薦委員会としても AP の大会出場実績としない旨の報告があった。

#### ・ 射撃場の変更報告について（福光）

香西認定部会長より資料 25 のとおり富山県福光射撃場の 50m 射場 1 2 的、10m 射場 1 5 的の電子標的化について変更を認める旨報告があった。

### 8) 普及生涯スポーツ委員会

#### ・ 平成 30 年度普及活動助成金交付決定について

岸高事務局長より資料 27 のとおり 7 件の普及活動の申請について交付を決定したとの報告があった。

2. 会務報告

- ・田口亜希理事待遇の世界パラ射撃連盟の選手代表就任について  
松丸会長より、田口氏の世界パラ射撃連盟の選手代表就任について報告があった。
- ・松丸会長より日ラは、JOCの中でジュニア事業数がNTよりも圧倒的に多いので将来性があると評価されている。またJOCの中には、強化交付金返す競技団体もあるが日ラは基金に積み立てるなどの経理処理が優れているとの評価も受けている、との報告があった。

17時10分議長が閉会を宣言した。

平成30年6月9日

議事録署名人

議長、代表理事（会長）松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

藤井優

藤井優



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



監事

石崎和男

石崎和男



監事

阿部栄一郎

阿部栄一郎

